

SHIRAKAWA



春、満開。
さくらまつりで彩るまちのにぎわい

白河小峰城さくらまつり開催

毎年恒例の「白河小峰城さくらまつり」は、今年は「ふくしまdestinationキャンペーン」の関連イベントとして、4月11日(土)・12日(日)の二日間にわたり開催されました。

地場製品の販売をはじめ、青年部のやきそば販売、女性会のお茶菓子のおもてなし、高校生による野点などで訪れた人々を温かく出迎えました。

11日には餅まきが行われたほか、「一斉乾杯」で盛り上がり、灯りに照らされた夜桜がひときわ美しく映えました。

また、12日は「桜ウォーク」や「甲冑武者行列・火縄銃演武」がまつりを彩り、さらに大河ドラマ「べらぼう」を契機として生まれた縁で、「はいばら太鼓演奏」、「白河市×牧之原市の連携協定式」、「寺田心さん・松村邦洋さんのトークショー」など盛りだくさんの催しが繰り広げられ、春の白河が活気に満ちあふれました。

特集

会議所活用術

「創業編」 … 4～5

トップの原点

～私が経営者になった理由～

(有)K'sクリエイトとら

竹井 和之 … 7



医療法人 昭寿会
東原 由美子

白河商工会議所女性会 新会長あいさつ

若葉に風薫る季節となりました。皆様には日頃より、白河商工会議所女性会の活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、令和8年度 白河商工会議所女性会 会長を拝命いたしました、東原 由美子と申します。

女性会は、自らが事業を営む女性をはじめ、経営者の片腕として家業を支え、お客様や従業員への目配り・気配りを大切にしながら、家庭では主婦としても活躍されている多くの女性の皆様によって支えられています。

業種や世代を超え、多様な立場の方々が集う会だからこそ、互いに学び合い、笑顔の中で成長できる場でありたいと願っております。

これまで先輩方が大切に育んでこられた伝統をしっかりと受け継ぎながら、時代の変化も前向きに受けとめ、新たな挑戦にも臆せず取り組んでまいります。

会員の皆様と共に歩みを進め、地域社会に貢献できる女性会を目指してまいりますので、今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

会費納入のおねがい

6月は当所の会費納入時期となっています。通知書は、5月下旬に送付しますので確認の上、下記によりご納付くださるようお願いいたします。

① 口座振替の方

6月10日(水) ご指定の銀行口座から振替となります。

② 窓口支払い・お振込みの方

請求書を送付いたしますので、6月30日(木)までに
ご納付ください。(この機会にぜひ、口座振替のご利用
をご検討ください)

※令和8年度は、口数単価が3,000円です。

※**法人・団体会員さま**には、4月中旬ごろに「年会費改定に伴う令和8年度・9年度会費額のお知らせ」を事前に送付しておりますので、会費額をご確認ください。

LOBO調査報告

本調査は、地域や中小企業が「肌で感じる足元の景況感」や「直面する経営課題」（採用、設備投資、賃金動向等）を毎月調査し、その結果を集計・公表しています。

建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業

業況の全産業DIは-0.1ポイント下降しました。業種別に見ると、製造業は+0.2ポイント上昇しました。一方で建設業は-0.2ポイント、小売業は-0.4ポイント下降しました。

卸売業・サービス業は横ばいでした。規模別で見ると、小規模は-0.3ポイント、それ以外は-0.6ポイント下降しました。

※DIとは…「好転」の回答割合 - 「悪化」の回答割合



日本商工会議所
LOBO調査HP

メール登録のおねがい

当所では、会報・各種セミナー・補助金・イベント・制度改正などの有益な最新情報をメールで配信しています。

今後は、会員の皆さまへのご案内はメール配信を基本とすることに順次切り替えてまいります。

まだメールアドレスをご登録いただいていない事業所様は、ぜひこの機会にご登録をお願いいたします。

<<メール登録のメリット>>

- ▶ 最新情報をいち早く受け取れる
- ▶ 補助金・制度改正などの重要情報を見逃さない

<<ご登録方法>>

QRコードまたは下記URLよりお手続きください。

<https://x.gd/wwQXO>

※内容により、一部郵送でご案内する場合があります。



そのお悩み、専門家に相談してみませんか？

～ 専門家相談会 ～

事前にご予約をお願いします ☎0248-23-3101

内容	相談機関	日時
無料法律相談	吉川 幸雄 弁護士	5月12日(火) 13時～15時
働き方改革相談	福島県働き方改革推進支援センター	随時 (事前予約)
金融相談	日本政策金融公庫 郡山支店国民生活事業	5月13日(水) 10時30分～12時
無料経営相談	福島県よろず支援拠点	5月19日(火) 10時～16時

自作ツールで進める

現場の見える化と自律化

今

回は、自作ツールで現場課題を解決した金属加工工業の事例です。東京都青梅市にある武州工業株式会社は、創業以来黒字経営を続ける自動車・医療機器向け金属バイブ部品メーカーです。

同社の特徴は、1人の技術者が材料調達、加工、納期管理まで一貫して担う「1個流し生産」にあります。この方式は、多品種少量生産や短納期対応に強みを持つ一方、作業者ごとの判断や動き方が生産性や品質に影響しやすい面もあります。そこで同社は、1個流し生産の強みを生かしつつ、その課題を補う手段として現場起点のデジタル化を進めました。その中核となったのが、自作のデジタルツールです。代表例は、スマートフォンの加速度センサーで設備のショット数をカウントし、計画と実績の差分を時系列グラフで表示する仕組みです。作業者は手元の画面で進捗を確認でき、遅れがあれば作業順やペース配分を見直し、余裕があれば次工程を意識して動けるようになりました。さらに、設備の停止理由も把握できるようにしたこと、ばらつきなどの要因分析と改善が進み、生産性が約2割改善した事例も紹介されています。

この仕組みの意義は、単なる稼働記録にとどまらない点にあります。ショット数の推移を見れば、進み具合だけでなく、停止時間やペースの乱れにも気づきやすくなります。現場の状況をデータとして示

し、作業者に判断材料を提供することで、従業員が自ら考え、行動することが促されました。1個流し生産では、一人一人の判断力が競争力に直結するため、同社のデジタル化は省力化や効率化に加え、人材の自律化を支える取り組みとしても意味を持ちました。

同社はこの考え方を一つのツールで終わらせず、受発注、生産、在庫、品質などの情報共有にも広げました。自社開発の管理システムを基盤に、必要な情報を必要な人に、必要なタイミングで届ける仕組みを整え、現場改善を継続しやすい環境を築いたのです。この事例が示しているのは、デジタル化とは、働く人が状況を把握し、判断できる環境を整えることだということです。1個流し生産では、一人一人の判断が生産性と品質を左右します。同社の取り組みは、自社の生産方式に合った形で判断を支える仕組みをつくることこそが、中小企業のDXの重要な方向性であることを示しています。

文／PwCコンサルティング合同会社 PwC Intelligence

シニアマネージャー

大川 真史

アクサ生命

経営者ご自身と会社を守るがん保険

がんの治療保障のマイセラピー

ガン治療保険(無解約払いもどし金型)

アクサ生命は、商工会議所と協力し、会員事業所の各種ニーズ(弔慰金・見舞金制度、退職金制度、リスク対策や事業承継など)を共済制度/福祉制度でサポートしています。

アクサ生命保険株式会社
郡山支社 白河営業所
〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 白河商工会議所2F
TEL 0248-23-4143



がんに負けずに、人生を歩むために。



●お引受けには所定の条件があります。本商品をご検討の際には「重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報・その他重要なお知らせ)」、「ご契約のしおり(約款)」を必ずご覧ください。

会議所活用術 創業編

創業を目指す方も、すでに事業を営んでいる方も、経営上の悩みや課題はつきものです。商工会議所は、そんな皆様の「想い」に寄り添い、創業前から創業後まで二人三脚で歩む「伴走支援」を行っています。

今回の特集では、会議所を活用して夢を叶えた2つの事例を紹介します。創業を検討中の方はもとより、現在の経営に課題を感じている方も、一歩踏み出すヒントが見つかるはずです。ぜひお気軽にご相談ください。

Sea Gull II (シーガルツー)

“飲食と音楽を融合させた心地よい空間”

Sea Gull IIは、リゾート料理やワインを気軽に楽しめるお店です。

店内にはピアノや楽器があり、演奏のある日はInstagramでも案内しています。



Q お店を始めようと思ったきっかけを教えてください。

A 能登半島地震をきっかけに復興支援の演奏会などに関わる中で、人と人とのつながりや地域の支え合いの大切さをあらためて実感しました。これまでの音楽制作や飲食業の経験を生かし、地元である白河で地域に根ざした交流の場をつくりたいと思い、創業を決意しました。

Q 創業融資を活用しようと思ったきっかけを教えてください。

A 創業にあたっては、自分のやりたいことを形にするために、創業融資の活用が必要だと考えていました。もし融資を受けられなかった場合でも自己資金で始めるつもりではありましたが、その場合はもっと小規模な開業になっていたと思います。創業融資を活用できたことで、住宅を店舗としてリフォームし、必要な設備も整えることができました。また、自己資金を手元に残すことができたため、開業後の資金繰りの面でも安心感がありました。

事業所情報

- ・事業所名 Sea Gull II
- ・所在地 白河市中田168-3 / 090-3689-5655
- ・業種 飲食業
- ・営業時間 Day 11:30~15:00 / Night 18:00~22:00 (定休日:火曜)
- ・代表 内山 淳
- ・Instagram



Q 会議所のサポートで助かった点は何ですか？

A 創業にあたっては、事業の進め方や資金計画の立て方などの面で分からない部分も多く、白河商工会議所へ相談しました。客単価の考え方や収容人数の設定、売上の見込み方などについて助言をいただき、開店後の実業務で大変参考になりました。創業計画の策定についても支援を受けながら進めることができ、全商品の原価表づくりに取り組めたことは、現在の仕入れや価格設定にも役立っています。

資金面を着実に整え、
創業への歩みを確かなかたたちに。

ny.maison (エヌワイメゾン)

Q 創業塾に参加したきっかけは？

A 20年以上にわたり衣料品販売に従事してきた経験を活かして、自分のお店を持ちたいという気持ちはありましたが、何から始めれば良いのかが分かりませんでした。

創業塾に参加して、「どうやって夢を実現するかの道筋」が具体的に見えるようになりました。

Q 創業塾に参加して印象に残っていることはありますか？

A 特に印象に残っているのは、事業計画づくりです。売上や経費を具体的に考えることで、不安が「準備すべきこと」に変わりました。

そして創業塾で学んだ知識は、補助金申請にチャレンジする際にも大いに役に立ちました。



創業塾をきっかけに、
開業を実現。

事業所情報

- ・事業所名 ny.maison
- ・所在地 〒961-0075 白河市会津町93-22 / 0248-21-7006
- ・業種 婦人服・雑貨小売業
- ・営業時間 12時~20時 (定休日:木曜)
- ・代表 八木橋奈菜
- ・Instagram



Q 今後の事業の展望はありますか？

A 今後も長く使い続けられる「もの」、愛着が湧き大切にしたいような「もの」を揃え、多くの方々に好きな物を身にまとう「幸せ」を感じていただきたいと思っています。そのために、創業塾で学んだことを大切に、今後は小規模事業者持続化補助金などにもチャレンジしながら着実な経営をしていきたいと思っています。

創業塾開催のご案内

「いつか自分のお店を」そんな想いを形にしてみませんか。創業塾は、不安を「できる」に変える場所。同じ夢を持つ仲間と出会い、一歩踏み出すヒントが見つかります。気になる今こそ動き出す時。ここから、新しい挑戦を始めましょう！

- 🌟 開催時期: 6月13日(土)・6月27日(土)・7月11日(土)
- 🌟 会場: 白河商工会議所 会議室
- 🌟 受講料: 無料
- 🌟 対象: 創業予定者・創業後間もない方
- 🌟 申込方法: 窓口・電話・ホームページ・FAXなどからお申込みください。

※詳細は、同封のチラシ・HPをご確認ください

「やってみたい」を
「できる」に変える!



支 援 制 度 情 報

事業の成長や経営課題の解決に活用できる支援制度があります。自社に最適な制度を見つけていただくための参考として、主な制度を一覧にしました。各制度の詳細要件や最新の受付状況は公式HPをご確認いただくとともに、ご不明な点や、活用をご検討の際は白河商工会議所までお気軽にご相談ください。

こんな時に活用!	制 度	主な対象経費・内容の例	受付締切	HP
中心市街地で開業事業承継したいとき	白河市街なかチャレンジ応援事業	内外装工事、設備工事、サイン工事、設計費、資材購入費等	5月22日(金)	
新分野進出、新商品・新サービス展開を進めたいとき	中小企業新事業進出補助金	機械装置・システム構築費、建物費、外注費、クラウドサービス利用費、広告宣伝・販売促進費等	6月19日(木)	
地域課題の解決につながる創業をしたいとき	地域課題解決型起業支援事業補助金	起業に必要な経費の一部	一次締切: 5月20日(水) 二次締切: 7月29日(水)	
新商品開発や生産性向上のための設備投資をしたいとき	ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金	機械装置・システム構築費(必須)、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド利用費、原材料費、外注費等	5月8日(金)	
自社の現場に合わせた省力化設備やシステムを導入したいとき	中小企業省力化投資補助事業(一般型)	機械装置・システム構築費(必須)、技術導入費、専門家経費、運搬費、クラウド利用費、外注費等	5月15日(金)	
省力化製品を比較的導入しやすい形で入れたいとき	中小企業省力化投資補助事業(カタログ注文型)	カタログ掲載製品の本体価格、設置作業、運搬費、動作確認、導入設定費用等	随時受付	
会計、受発注、顧客管理などのIT化・AI活用を進めたいとき	デジタル化・AI導入補助金2026	ソフトウェア購入費、クラウド利用費、ハードウェア関連費、導入関連費等	6月15日(月)	
最低賃金改定に対応して賃上げを行ったとき	福島県中小企業賃上げ緊急一時支援事業助成金	令和7年度の最低賃金改定に対応して従業員の賃金を引き上げた中小企業等への助成	5月31日(日)	
賃上げとあわせて設備投資や人材育成を進めたいとき	業務改善助成金	機械設備、コンサルティング導入、人材育成・教育訓練等	地域別最低賃金の発効日前日か 11月30日(月) のいずれか早い日	

白河生活応援商品券5月換金日

商品券の換金は、取扱規定に定めた申請書に必要事項をご記入の上、申請期限までに商品券をご持参の上、会議所窓口でお申し込みください。

事前申請期限	換金振込日
5月8日(金)まで	5月15日(金)
5月18日(月)まで	5月25日(月)
5月29日(金)まで	6月5日(金)

Part 4

トップの原点
私が経営者になった理由

有限会社 K's クリエイトとら 代表取締役社長

竹井 和之 (手打中華そば とら食堂)



白河市の中心市街地から東に約5km、車で約15分というけして立地のいい場所ではないところに、私の店「とら食堂」があります。創業者は父・寅次です。父親が作るラーメンが美味しくて、自分もラーメン屋になると決意したのは、小学生の頃でした。

本格的に店に入ったのは19歳。あの頃、仕事というのは教えてもらうものではなく「見て覚える、仕事は盗むもの」。父の仕事の側に立ち見よう見真似で麺を作っていました。その父が突然亡くなり、店主となったのが28歳。

それから店の看板と父の味を残された私は、がむしゃらに働きました。しかし同じように作っているつもりでも、お客さんには納得してもらえない。「味が変わった」、「先代の方が良かった」と言われたことも一度や二度ではありません。どうしたら美味しいものができるのか? 研究のために東京の有名

店を食べ歩いて、あらゆることを試しました。ようやくこれが自分の味だと納得のいくラーメンができるまで、10年以上かかりました。「人は味なり」という言葉があります。飲食業界、特にラーメンのような専門店では、作り手の技術と熱意がそのまま一杯の器に映し出されます。お客様が店に足を運んでくれて、自分が作ったものを食べてお金を支払ってください。実にシンプルであるからこそ、職人としてのあり方が大事なのです。

大変でも毎日早朝から厨房に立ち、仕込みを丁寧に行う。寒い日も暑い日も、汗を流して麺を打つ。その積み重ねが、食べる人を喜ばせ、また食べたと思うだけいただける味を生み出すのです。

私はこれまでに多くの弟子を育ててきました。彼らは独立して全国各地で店を構えております。事業拡大ではなく完全独立です。なぜならこの仕事は自分でやるからこそやりがいがあるのです。経営者としては正しいのか分かりませんが、私はそれで良いのです。このような仕事人生を送り、ラーメン職人として50年を超えました。父から引き継いだ店をこうして続けてこれたことは、経営者として認めていただいているのかなど嬉しく感じています。

「努力に勝る天才なし」。どんな仕事にも通じるでしょう。努力を続ける若い人を、私は応援したいと思います。



会社概要

有限会社 K's クリエイトとら
〒961-0017 白河市双石滝ノ尻1
TEL:0248-22-3426

まずはここから！「IT化」は難しくない

～スマホひとつで変わる業務改善・はじめの一步～

「IT化やDXと言われても、高額なシステムを入れるお金もないし、ウチには関係ない」。そう感じていませんか？実は、IT化の本当の目的は最新の機械を入れることではありません。「日々のちょっとした『面倒くさい』をなくし、仕事をラクにすること」。これこそが、小さな会社が目指すべきIT化の第一歩です。

ホワイトボードからスマホへ！費用0円で始める「小さな会社のIT化」第一歩

ホワイトボード管理が奪う「見えない損失」

1ヶ月で「10時間以上」のタイムロス
1回3分の確認電話が1日10回発生するだけで、月間の労働時間が大幅に削られます。

事務員の作業中断と精神的ストレス
電話のたびに作業が止まるだけでなく「言った・言わない」のトラブルも発生します。

失敗しない！IT化「はじめの一步」の進め方

- まずは「社長と事務員」の2人だけで1週間全員で始めようと思わず、まずは最小人数で試して便利さを実感することが成功の近道です。
- 苦手な社員には「見るだけ」ルールから入力は事務員が代行し、現場社員はスマホで確認するだけに留めることで抵抗感をなくします。

導入コスト「0円」で劇的な変化
Googleカレンダー等の無料アプリで、誰が・どこで・何をしているか即座に把握できます。

導入前(ホワイトボード)	導入後(共有アプリ)
確認電話 確認電話1日何度も発生	ゼロ(各自で確認)
費用 手間という見えないコスト	0円(無料アプリ活用)
対応スピード 社長が戻るまで不明	出先で即答・即依頼が可能

■ 事務所の「ホワイトボード」が奪う、見えない時間とコスト

A 設備さんでは長年、社員の予定を事務所のホワイトボードで管理していました。しかし、現場の社員からは毎日こんな電話がかかってくる。「明日の午後の現場はどこ？」「社長はいまどこにいる？」

そのたびに事務員さんは作業を止め、確認して口頭で伝えていました。書き忘れによる「言った・言わない」のトラブルもあり、急な変更も出先からは把握できません。

1回3分の確認電話でも、1日10回で30分。1ヶ月で10時間以上のムダと、事務員さんの作業が中断される見えないストレスが発生していました。

■ 無料の「カレンダーアプリ」で情報共有

そこで導入したのが、スマホの「無料スケジュール共有アプリ（Google カレンダーなど）」です。全員のスマホに入れ、予定を色分けして入力するようにしました。手元のスマホを開くだけで、「誰が・どこで・何をしているか」がひと目でわかるようになったのです。

■ 「スマホが苦手な社員」にはどう対応する？

「スマホで打つのは面倒」と渋るベテラン社員もいるでしょう。A 設備さんでも最初は同じでした。そこで社長は、「最初は見るだけでいい」というルールにしました。入力は事務員が代行し、ベテラン社員には「明日の予定はスマホで確認して」とだけ伝えたのです。すると、電話確認の手間が省ける便利さに気づき、自然と定着していきました。

■ まずは「2人」から始めよう

まずは全員でやろうと思わず、「社長と事務員さん」など2人だけで明日から1週間試してみてください。これも立派なIT化です。

次回は、「言った・言わない」のトラブルをなくす『ビジネスチャット』の活用法をご紹介します。お楽しみに！



ITコーディネータ・上級ウェブ解析士・上級SNSマネージャー
有限会社エーアイティ研究所 取締役社長
特定非営利活動法人ITCふくしま 副理事長
渡邊 功